13. 命に嫌われている。/ まふまふ

「死にたいなんて言うなよ」
「諦めないで生きろよ」
そんな歌が正しいなんて
馬鹿げてるよな

実際自分は死んでもよくて
周りが死んだら悲しくて
「それが嫌だから」っていう
エゴなんです

他人が生きてもどうでもよくて
誰かを嫌うこともファッションで
それでも「平和に生きよう」
なんて素敵なことでしょう

画面の先では誰かが死んで
それを嘆いて誰かが歌って
それに感化された少年が
ナイフを持って走った

僕らは命に嫌われている
価値観もエゴも押し付けて
いつも誰かを殺したい歌を
簡単に電波で流した

僕らは命に嫌われている
軽々しく死にたいだとか
軽々しく命を見てる
僕らは命に嫌われている

お金がないので今日も
一日中惰眠を謳歌する
生きる意味なんて見出せず、
無駄を自覚して息をする

「寂しい」なんて言葉で
この傷が表せていいものか
そんな意地ばかり抱え
今日も一人ベッドに眠る

少年だった僕たちは
いつか青年に変わっていく
年老いていつか 枯れ葉のように
誰にも知られず朽ちていく
不死身の身体を手に入れて
一生死なずに生きていく
そんなSFを妄想してる

自分が死んでもどうでもよくて
それでも周りに生きて欲しくて
矛盾を抱えて生きてくなんて
怒られてしまう

「正しいものは正しくいなさい」
「死にたくないなら生きていなさい」
悲しくなるならそれでもいいなら
ずっと一人で笑えよ

僕らは命に嫌われている
幸福の意味すらわからず
産まれた環境ばかり憎んで
簡単に過去ばかり呪う

僕らは命に嫌われている
さよならばかりが好きすぎて
本当の別れなど知らない
僕らは命に嫌われている

幸福も別れも愛情も友情も
滑稽な夢の戯れで
全部カネで買える代物

明日死んでしまうかもしれない
すべて無駄になるかもしれない
朝も夜も春も秋も
変わらず誰かがどこかで死ぬ

夢も明日も何もいらない
君が生きていたならそれでいい
そうだ　本当は
そういうことが歌いたい

命に嫌われている
結局いつかは死んでいく
君だって僕だって
いつかは枯れ葉のように朽ちてく

それでも僕らは必死に生きて
命を必死に抱えて生きて
殺してあがいて笑って抱えて
生きて生きて生きて生きて生きろ

14. umbrella / Mrs. GREEN APPLE

不幸の雨が降り続き　傘もない僕は　佇む毎日
伝えられるのみ僕らは　壁を作って逃げた
でも　なんでなの

人が連なって　生まれる意味も
人が散らばって　消えゆく星が泣いているよ

色がついたら　僕に名前をと
空が茜色に染まるあの様に
君が笑えるならば側にいよう
僕が傘になる　音になって　会いにいくから
La, la, la, la, la, la, la, la, la, la, umbrella

苦しいけど歌唱うわ　唄えど胸の穴が埋まらなくて
寄り添う為に神様は2人で１つを決めた
でも　なんでなの

人が連なって生まれる意味も
人が散らばって　消えゆく星が泣いているよ

胸が痛い　この痛みに名前をと
じゃなきゃ　とてもじゃないけど生きていけないよ
嫌になるから
振り続けるんだ　雨は　少しだけでも
僕が傘になる　音になって　会いにいくから
La, la, la, la, la, la, la, la, la, la, oh, oh, oh, ah

君と一緒に何を観よう
僕と一緒でよかったの？
不安なんだ　いつか壊れるのは
なんとなくだけでも　わかってるんだ

イカレタものばっかで呆れるんだ
この世界の仕組みも　そう貴方も
やり場のないこの感情は
もう空に向かって放つしかない

色が付いた
色が褪せた
空が晴れた僕に名前をと
もう傘はいいね　僕はただ　会いに行くから
La, la, la, la, la, la, la, la, la
La, la, la, la, la, la, la, la